

福徳新聞

毎月五日一回
定額 一枚十銭
廣告料 別定
印刷部 別定
電話 〇三
發行所 福徳新聞社
市島 範造

政戦に直面して

普選有権者諸君の 深甚なる考慮よ訴ふ

普選により新しく選挙権を獲得したる有権者諸君が、諸君は所謂「清キ一票」を以て、過去に於て二回投じた、即ち第一回は昨年縣會議員選挙の時、第二回は昨年衆議院選挙の際、諸君の自由意志によつて投じた、一票の總數の多少によつて、或候補は勝利の榮冠を戴いて代議士となり又縣議となり、或候補は敗退して、或立候補者は敗軍の將となつて悲哀を満喫した。

知人消息

○郡司二郎氏 カイゼルヒゲをピンと生やして太平洋を眺んでゐる、氏は労働者の間に伍して勇敢に働らく高橋組との係争問題圓滿に解決して「海洋開拓」の一大奮戦をせんことを望む

ある日の漫談

新聞合同について

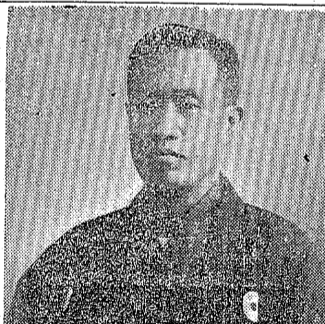
有志家「一体全体石城に場が多にあるではありませぬか？、あなたが新聞合同記者「左様、日刊四、ツ同を叫ばれる、それは一應旬刊、月刊十七、彼此二十半面の眞理はある、それなら貴下の従事する事業も合同を作つたらどうだネ」

断片語

○山野邊東次郎氏 天才的奇警語を亂射して、氏一流の皮肉の嘲笑語を浴せて痛快に快笑して居る。

野馬追以上の大祭り

縣社小高神社遷宮式臨時列車も出る
相馬郡小高町縣社小高神社殿が竣工したので廿一日から三日間盛大な遷宮式を行ふがこの三日間に東京権太間の講中一萬五千名の参詣があるの、仙臺運輸事務所では仙臺平間に臨時列車を運轉する筈で、野馬追以上



加藤卯之吉氏

敢て問ふ、石城の紳士又政治家諸君!!! 新聞記者を子分に持たずとも友人位を持つて見る心掛はないか？

- 鈴木重郎 治人
- 戸田忠 助
- 時田子之 助
- 松本酒造 店
- 石川製糸 所
- 福原ノ町製糸 所
- 中村製糸 所
- 浪江銀行 組合
- 西尾直 藏
- 柳沼徳 實
- 田中美 男
- 須田秋之 進
- 秋田齒科醫院
- 相馬屋酒店
- 中村藝妓屋組合

加藤卯之吉氏は半町に於ける理髮業者として技術優秀永らく平理髪

